



# 西浦和駅周辺

# まちづくりワークショップ ニュース

## 今後、地域で取り組んでいきたいこと

まちづくり協議会では、今後もさいたま市と協力し、まちづくりビジョンをもとに地域住民及び西浦和駅を利用される方々の意見を聞きながら、西浦和駅周辺のまちづくり活動を進めていきます。

### 《今後の取り組みについての主な意見》

『皆でまちを知ろう！皆にまちを知ってもらおう！』プロジェクト  
⇒まちづくり協議会メンバーをはじめ、地域の皆さんと一緒にまち歩きます。

西浦和駅周辺まちづくりビジョン（協議会案）の周知活動  
⇒まちづくりビジョン（協議会案）を、地域住民にお知らせし、意見交換をします。

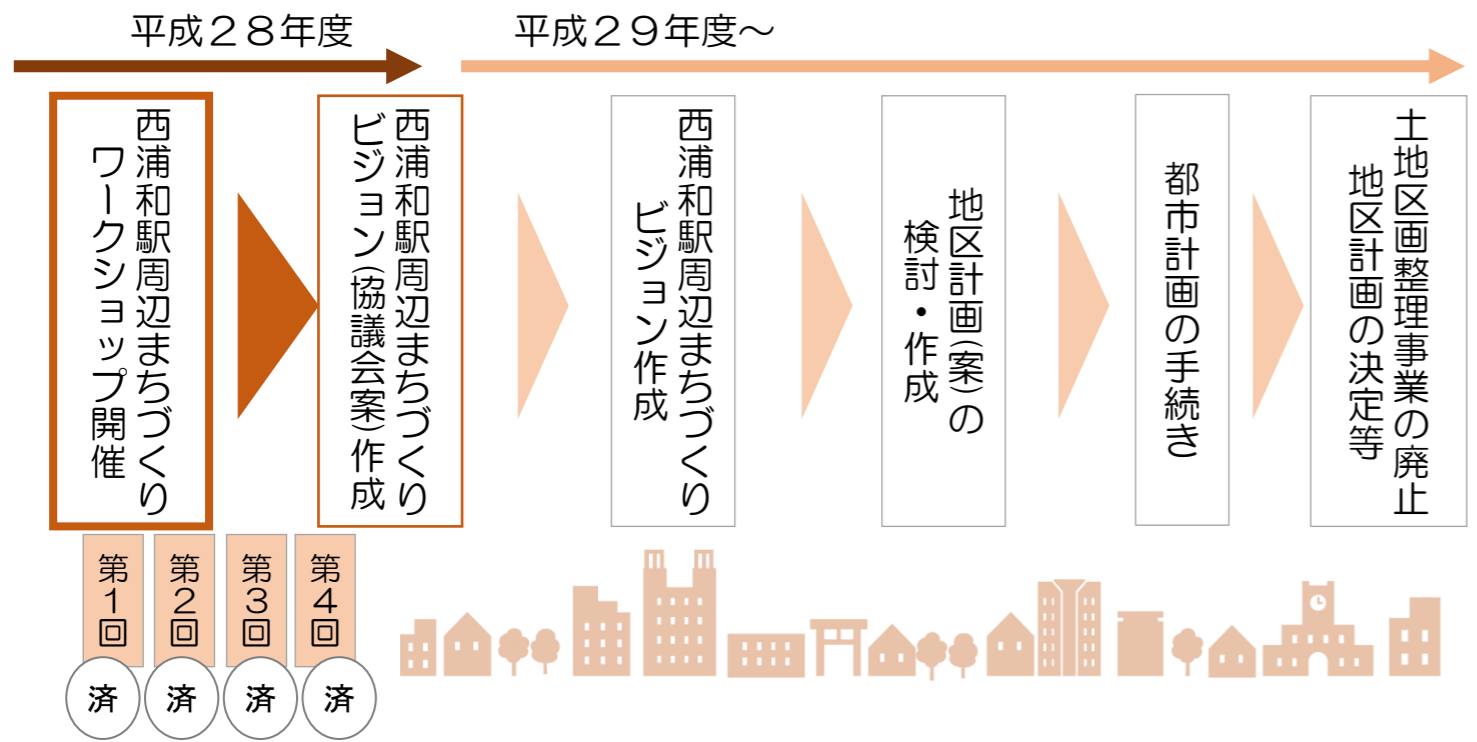
西浦和駅周辺のまちづくりに関連する事業所等との意見交換  
⇒自治会をはじめ、JRやダイエー、UR、埼玉大学等と、意見交換を行います。

西浦和駅利用者の声を収集  
⇒駅を利用する皆さんに、西浦和駅周辺のまちづくりに関する意見や提案をお聞きします。

定期的なイベント開催  
⇒定期的にイベント等を開催していくことで、まちの賑わいとコミュニティを創出します。



## 今後の取り組みスケジュール(予定)



### ■問合せ先(発行元)

西浦和駅東西地区まちづくり協議会  
連絡先: NPO法人 さいたま都市まちづくり協議会内  
さいたま市桜区田島5-20-24 FC21ビル 3階  
電話 048-838-8375  
西浦和駅周辺のまちづくり担当 深井 康夫

## 第4回西浦和駅周辺まちづくりワークショップ開催報告

- 第4回西浦和駅周辺まちづくりワークショップには、26名の方々にご参加いただきました。第3回までと同様、グループに分かれ、『西浦和駅周辺まちづくりビジョン(平成28年度 協議会案)』の作成を目指し、まちづくりの方向性について共有と意見交換をしました。
- 内容としては、第3回ワークショップで出された意見および提案等を踏まえて作成した『西浦和駅周辺まちづくりビジョン(平成28年度 協議会案(案))』の内容について確認・共有をしました。
- その後、3グループに分かれ、この内容について不足していること、表現が正しいかどうか意見交換を行いました。さらに、今後地域で取り組んでいきたい活動等についての意見交換を行いました。

■第4回開催概要  
日 時: 平成29年1月25日(水) 15時00分~16時30分  
会 場: 田島公民館  
出席者: 26人  
内 容: ・前回のふりかえり  
・西浦和駅周辺まちづくりビジョン(H28年度 協議会案(案))の内容、今後の活動について意見交換



説明の様子



グループ会議の様子

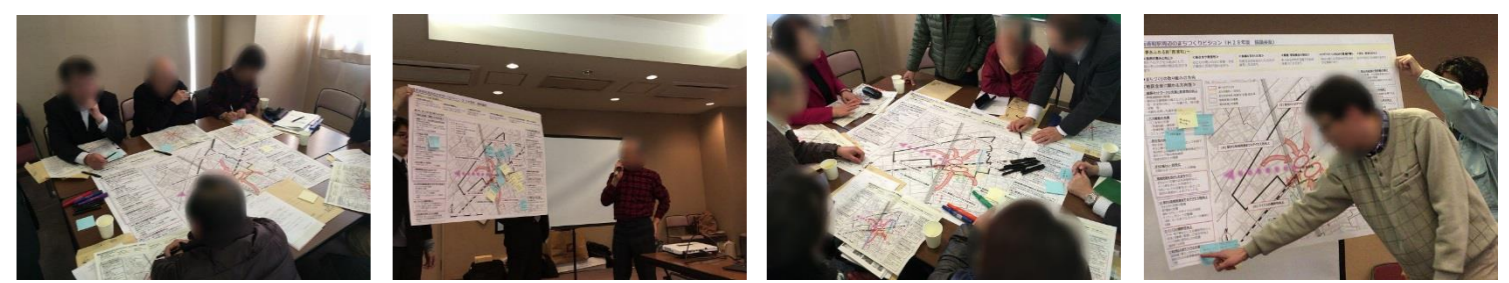
### ---グループ会議の流れ---

まちづくりビジョン(H28年度 協議会案(案))の内容について確認します。

#### ★検討のポイント

- 内容を分かりやすく伝えることができるか確認しよう!
- 今後地域で何をしたらよいかを考えてみよう!

内容を分かりやすく伝えるために、文章表現を見直した方がいい箇所はないか確認します。ビジョンをもとに今後どんな取り組みをしていきたいか意見交換をします。



# 第4回ワークショップのまとめ

## ■西浦和駅周辺のまちづくりビジョン（H28年度 協議会案（案））

## 意見・提案など

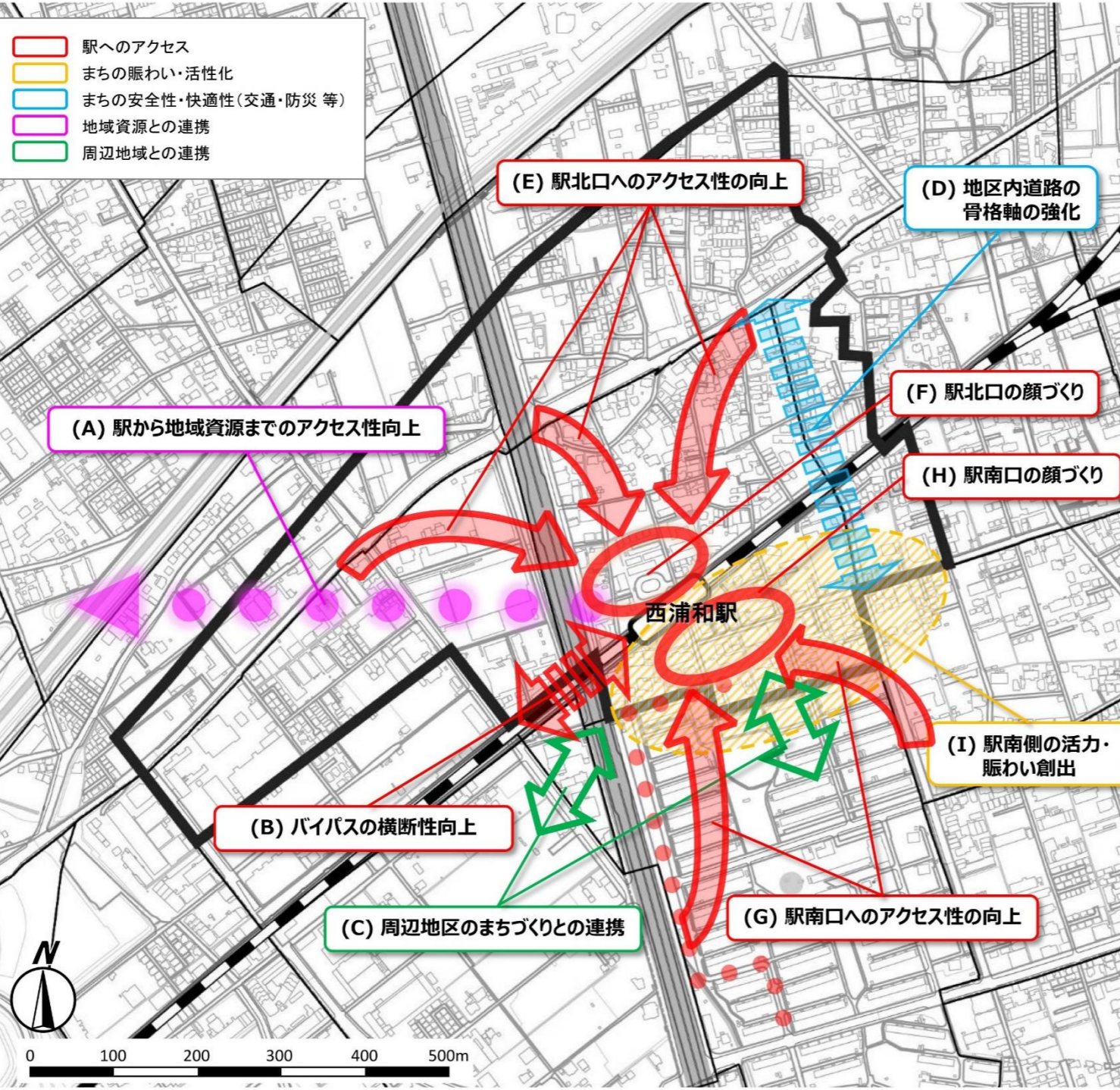
### ～夢あふれる街「西浦和」～

- ＜自然の恵みと共に＞ 荒川へのアクセス拠点として荒川そいの自然の恵みを活かすまち
- ＜拠点性や発信性＞ ゆとりや潤いの中に産業・文化の創造と活気が溢れるまち
- ＜多様な交わりと和＞ 利便な立地を活かした交流が資源となるまち
- ＜参画・参加機会の創出＞ あらゆる世代が活躍でき地域を豊かにするまち
- ＜アイデンティティのさくら草・獅子舞＞ 桜区の顔となる個性的でたおやかな景観のまち
- ＜安心・安全なまち＞ 防災や防犯に気を配れるまち

### ◆まちづくりの取り組みの方向

#### ＜地区全体に関わる方向性＞

- 道路ネットワークの充実と安全性の向上
  - ・幹線道路網の整備
  - ・適切な交通規制の導入などによる利便性・安全性の向上（一方通行化、抜け道対策等）
  - ・水路を活用した遊歩道整備
- バス機能の充実
  - ・バス系統の充実
  - ・西浦和駅～浦和駅
  - ・西浦和駅～埼玉大学 など
  - ・コミュニティバスの増便
- 防災性の向上
  - ・地区全体に対して避難場所として利用できる公園の適切な配置
  - ・周辺地区との連携による災害時拠点づくり
  - ・防災マップ等の周知徹底
  - ・地域住民同士の連携
- まちの賑わい・活性化
  - ・定期的なまつりやイベントの開催
- 地域資源を活かしたまちづくり
  - ・まちなかに花壇や店先休憩所など、さくら草を活かした空間作り
  - ・市民レベルでの活動をはじめとした総合的な取り組みによるブランド化



- (A) 駅から地域資源までのアクセス性向上
  - ・安全な歩行空間の整備
  - ・案内看板の設置
  - ・臨時バスやレンタサイクルの活用
  - ・サイクリングロードの整備
  - ・（仮称）さいたまウエストパーク構想との連携
- (B) バイパスの横断性向上
  - ・デッキ・地下道などによる横断性向上と歩行者と自動車に配慮した安全性向上
  - ・バイパス西側に駅改札口の設置
  - ・鉄道高架下の活用
- (C) 周辺地区のまちづくりとの連携
  - ・田島団地建て替えと合わせた周辺整備
  - ・雇用創出のための産業集積拠点へのアクセス検討

- (D) 地区内道路の骨格軸の強化
  - ・田島大牧線～大谷場高木線をつなぐ主要区画道路の整備
  - ・消防活動困難地域を解消するために道路幅員を拡幅
- 【駅北側の取り組みの方向性】  
日常生活のための都市基盤を改善するとともに、既存の住環境を守る
- (E) 駅北口へのアクセス性の向上
  - ・通勤時などに駅へ徒歩でアクセスしやすい直線的道路の整備
  - ・駅にアクセスする未整備の都市計画道路（西浦和北口停車場線）を見直し、既存道路で代替できるよう機能強化
  - ・雨水排水が適切にできるよう改善
- (F) 駅北口の顔づくり
  - ・地域住民や駅利用者の通勤通学等の日常生活の玄関口として利便性を高めつつ、都市観光の玄関口として周辺の地域資源へのアクセス性を高める。
- 【駅南側の取り組みの方向性】  
日常生活の活力を支えるとともに、エリア外からの来訪者を迎える地区の顔として拠点を形成
- (G) 駅南口へのアクセス性の向上
  - ・車両によるアクセス機能の充実
  - ・駅アクセスのしやすい空間づくり
- (H) 駅南口の顔づくり
  - ・地域への来訪者をもてなすことのできる玄関口として利便性を高めると共に、周辺地域とを結ぶ出発・帰着地として、商店街と合わせて魅力を向上する
- (I) 駅南側の活力・賑わい創出
  - ・安全に買い物ができる道路の整備
  - ・地図や看板の設置
  - ・観光案内や地元産野菜などを販売できる空間づくり
  - ・子供や高齢者などが遊んだり休憩できるような、人が集まることができ場所の確保や仕掛けづくり
  - ・空き店舗等を活用したコミュニティづくり

### ■地区全体に関わる方向性

- 【道路ネットワークの充実と安全性の向上】
- ・バリアフリーに関する記述の追加
- ・水路を暗渠化することは意見が分かれるので、水路を「活用した」ではなく、「活かした」とした方がよい
- 【バス機能の充実】
- ・西浦和～埼玉大学のルートに「区役所経由」を追加
- ・コミュニティバスの運行ルートの見直し
- ・田島通りのバス便の見直し

### ■(C)周辺地区のまちづくりとの連携

- ・田島団地建て替えは周辺のまちづくりと一体を目指す
- ・雇用創出云々の文言ではなく、「産業集積拠点を含めたバイパス西側の開発」として欲しい

### ■(E)駅北口へのアクセス性の向上

- ・雨水排水については、この項目でよいのか確認

意見・提案を踏まえて修正等を加え、「西浦和駅周辺まちづくりビジョン（協議会案）を作成します。